

事業説明会

情報通信ソリューション事業

2025年6月6日

情報通信ソリューション統括部門

統括部門長 太田 寿彦

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

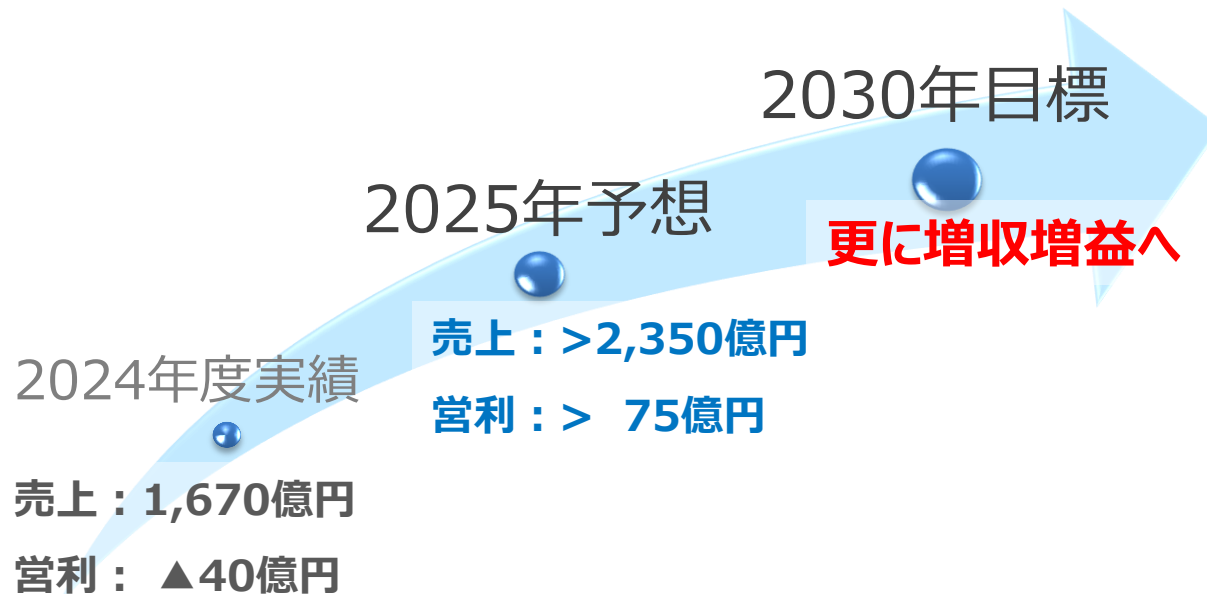
Agenda

- 概要
- 光ソリューション (ファイバ・ケーブル)
- ファイテル製品
- ブロードバンドソリューション

情報伝達の進化と持続可能な社会の実現を“支えリードする”事業へ

『ビジョン2030』で掲げる『情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤創り』に向けて、

- 通信分野は、IOWN、B5G時代に向けてサプライチェーンのキーポジションに立ち、“省電力化”をキーワードに高付加価値製品群・ソリューションをグローバルに提供する
- 非通信分野は、“生活の安全と豊かさの向上”に繋がる情報・エネルギーの生成・伝達・検出等に寄与する高付加価値製品群・サービスを提供する



- 各事業部門（個社）の既存事業の成長＋ソリューションの拡大
- 事業部門間の融合領域探索＋非通信分野の拡大

フォトリクス技術を基盤に、B5G、IOWN次世代ネットワークの実現に貢献



AI



IOT・リモートワーク



自動運転



遠隔医療

データセンタ

DC内ソリューション

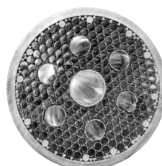
DC相互接続ソリューション



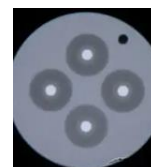
CPO向け外部光源



CPO向けコネクタ



HCF*1



MCF*2



CDM*3



トランシーバ



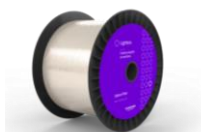
DFBチップ



MTフェルール



プリコンケーブル



高機能ファイバ



超多心RRケーブル



LN*4変調器



マルチサービスルータ



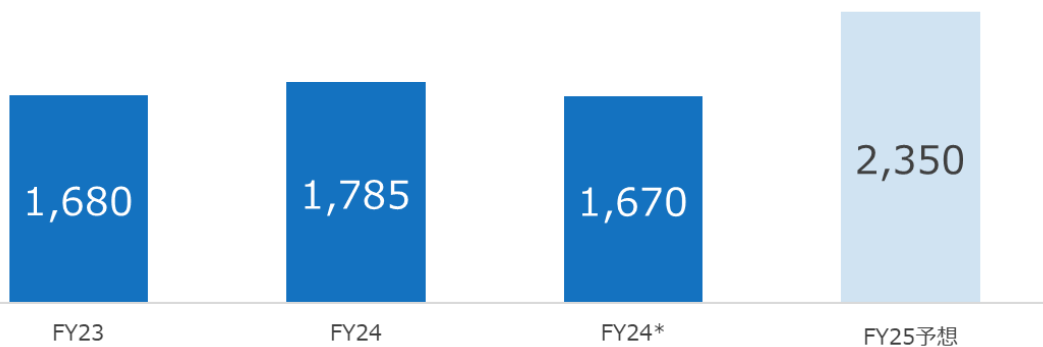
PON

* 1 HCF: Hollow-core Fiber, * 2 MCF: Multicore Fiber, * 3 CDM: Coherent Driver Modulator, * 4 LN:LiNbO3 (リチウムニオブ酸塩)

売上高・営業利益推移

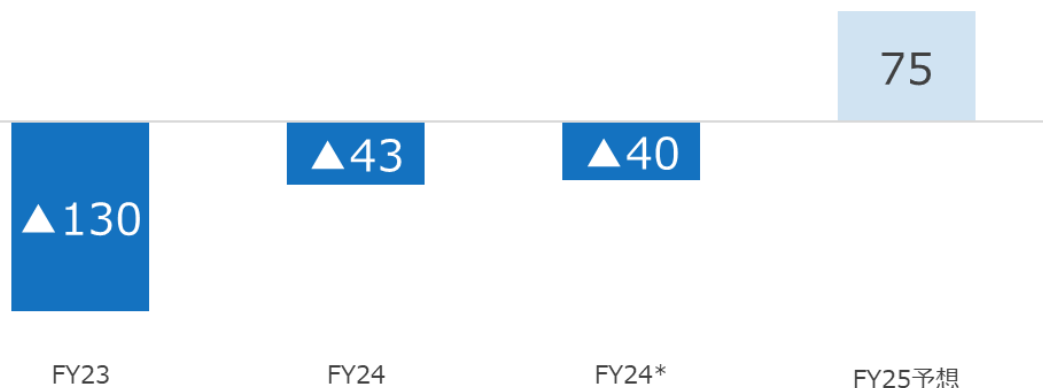
売上高

(億円)

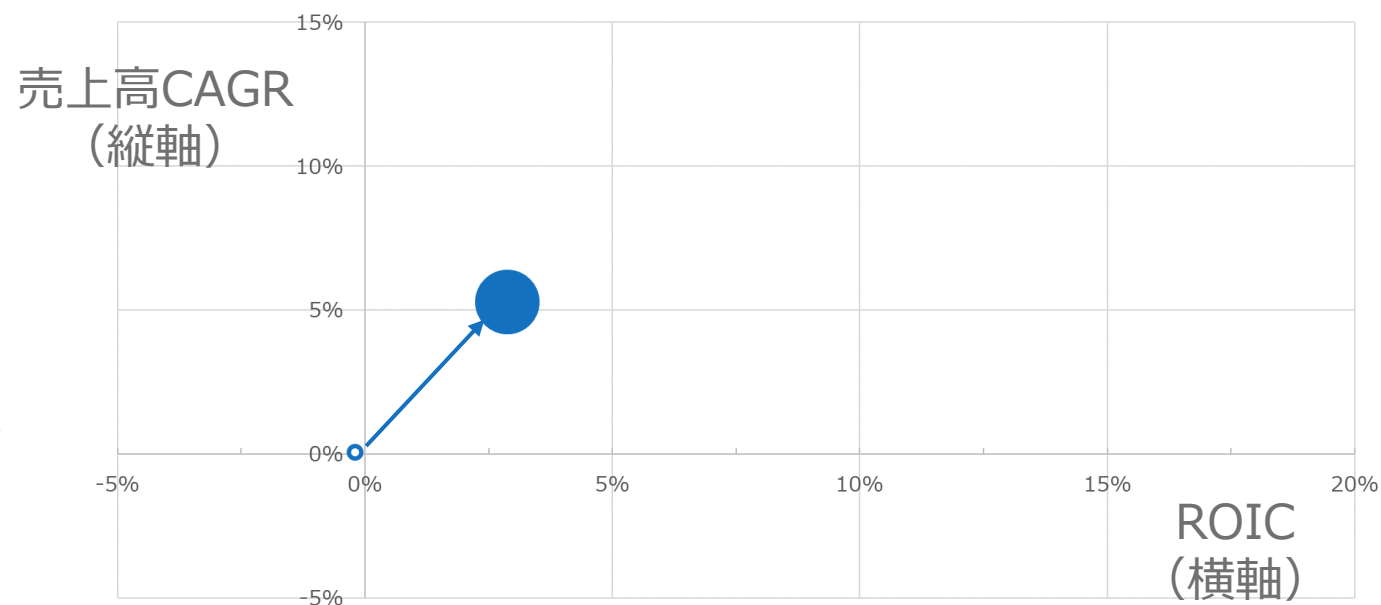


営業利益

(億円)



ROIC (21年度実績 → 25年度予想)



※ CAGR : 年平均成長率、ROIC : 投下資本利益率 (税引後)
NOPAT : IFRSに準じ、当期純利益 + 税引後支払利息で算出

* FY25よりセグメント・サブセグメントの変更および本部費配賦の一部変更についてFY24の実績値をリステイト
・産業用レーザ事業をインフラセグメント (情報通信ソリューション) からサービス・開発等セグメントへ
・メタル電線事業をインフラセグメント (情報通信ソリューション) から (エネルギーインフラ) へ移管

セグメント

振り返り

光ソリューション

- ✓ 北米および中南米を中心としたテレコム市場向け販売が低迷。
- ✓ 活況なAI・データセンタ市場に対し、ハイパースケーラーおよびダークファイバプロバイダ需要の着実な捕捉が進行
- ✓ 成長に向けた諸施策の実行
 - 3事業ユニットの統合（Lighteraの発足）、データセンタ向け製品増産（白山の買収含む）など

ファイテル製品

- ✓ テレコム市場の回復遅れ
- ✓ 活況なAI・データセンタ市場に対し、ハイパースケーラー需要の着実な捕捉が進行
- ✓ バリューチェーンの拡充（FFOCの買収など）

ブロードバンドソリューション

- ✓ 国内CATV事業が堅調

事業環境認識および想定されるリスク

- ✓ AI・データセンタ、エンタープライズ市場
 - 力強い成長が継続
- ✓ 北米
 - テレコム市場は回復傾向
 - ・ ダークファイバ需要が後押し
 - ・ BEAD^{*1}需要の見通しは不透明
- ✓ 中南米、欧州テレコム市場
 - 厳しい価格競争が継続
- ✓ 中国
 - AI、データセンタ市場成長、テレコム市場回復傾向
- ✓ 国内
 - 国内CATV市場の堅調継続

リスク：米国関税措置の影響、米中貿易摩擦

重点施策

光ソリューション

- ✓ データセンタ需要の最大限取り込み
 - 主力製品の生産能力アップ
 - ソリューションポートフォリオ拡充
 - 顧客基盤の拡大（MTDC^{*2}）
- ✓ 北米ケーブル拡販体制の整備
- ✓ ソリューションセールス拡大
 - セールスチャネル、営業技術機能強化

ファイテル製品

- ✓ データセンタ需要の最大限取り込み
 - 主力製品の生産能力アップ
 - ソリューションポートフォリオ拡充
- ✓ FFOC連携ラインナップ拡充
- ✓ CPO向け製品開発

ブロードバンドソリューション

- ✓ 国内CATV需要の最大限取り込み
- ✓ 他社共創推進

* 1 Broadband Equity Access and Deployment Program

* 2 MTDC: Multi Tenant Data Center

光ソリューション (ファイバ・ケーブル)

2025年4月 “Lightera”発足、新体制が始動

効率化～事業拡大と市場プレゼンス向上を図るため、

光ファイバ・ケーブル事業部門（日本・アジア）、OFS（北米・欧州）、FEL（中南米）を統合

新体制のねらい

4つの地域事業
（アジアパシフィック、北米、中南米、欧州・中東・アフリカ、特殊ファイバ事業）
と本部機能（横串）の
マトリックス組織

戦略の統一化
グローバル事業運営の強化
シナジー効果の最大化
選択と集中

グローバル視点での
事業展開、
イノベーションを加速

 Lightera

北米・欧州

OFS

中南米

FEL

日本・アジア

光ファイバ・ケーブル
事業部門

4つの市場セグメントで高付加価値ソリューションを展開

● 通信ネットワーク

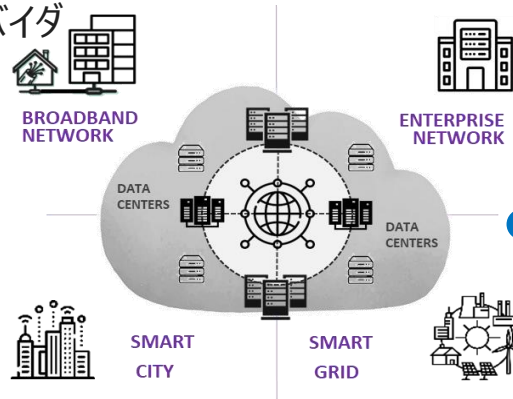
- 通信事業者（固定 & モバイル）
- インターネットサービスプロバイダ
- ダークファイバプロバイダ

● DC・エンタープライズ

- HSDC*1、MTDC*2
- エンタープライズ
- 海底線

● 特殊ファイバ

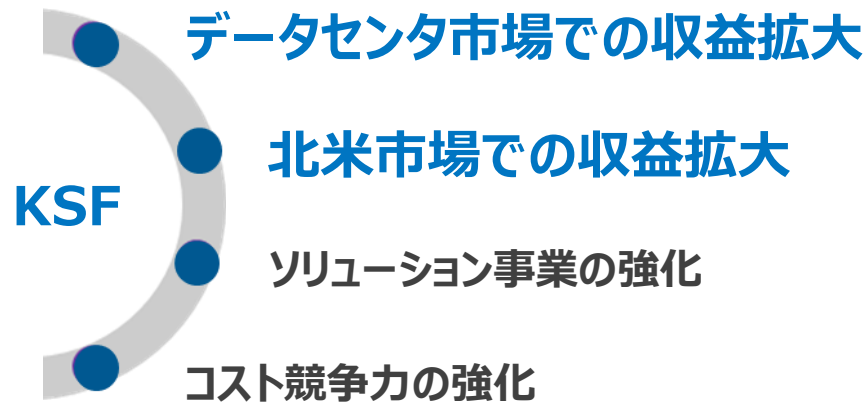
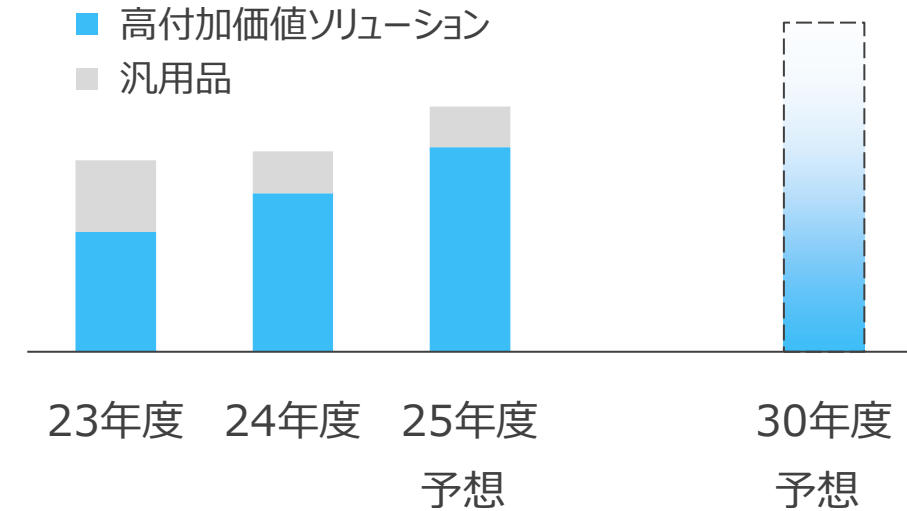
- 医療
- 航空・防衛
- 産業用ネットワーク
- センシング



● 公共インフラ等

- ユーティリティ（電力、鉄道、道路等）
- スマートシティ
- 政府系プロジェクト

売上高推移



重点施策

- データセンタおよびダークファイバ需要の最大限取り込み
- 市場チャンネルの開拓
- 超多心・高密度ソリューションの拡充と生産能力の拡大
- 新製品・新ソリューションの導入

- 高密度化技術および低遅延技術により、HSDC市場での優位性を確立
- MTDCおよびエンタープライズ・ソリューションのグローバル拡販体制の構築

データセンタの要求特性

- 高密度実装
- 安定的かつ迅速な供給体制
- 工事トレーニング・サービスの充実



当社の優位性

- 超多心ローラブルリボン(RR)ケーブル
- 低損失MTフェルール・MPO *1
- 超低損失ファイバ、MCF *2、HCF *3
- グローバルな生産拠点とサービス体制

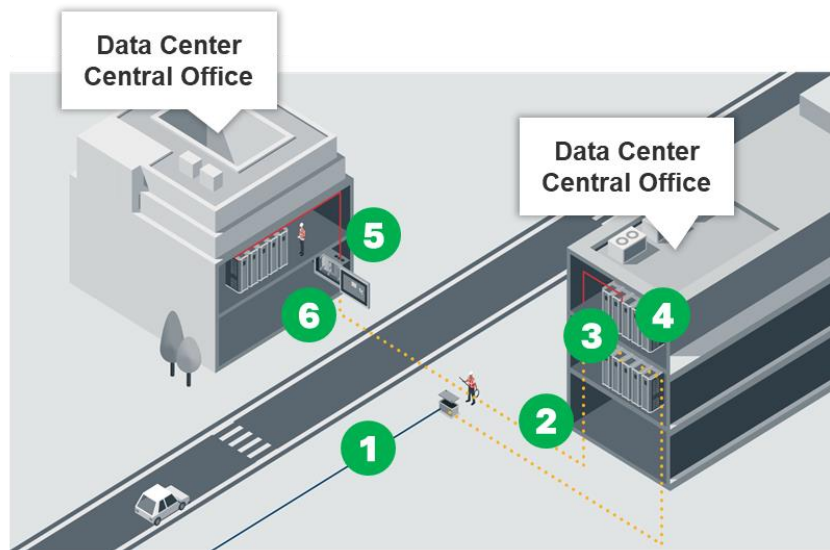
* 1 Multi-fiber Push On * 2 Multicore Fiber * 3 Hollow-core Fiber

主力製品・ソリューション

Entry Splice Point 5



Splicer for Mass Fusion Splice 6



HFC Rollable Ribbon Cables 1



UHFC Rollable Ribbon Cables 2



Optical Distribution Frames 4



Rollable Ribbon Preterminated Assemblies 3

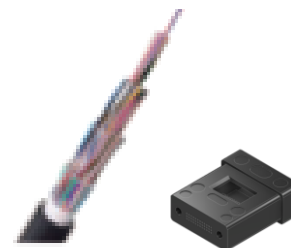


重点施策

HSDC

Hyper Scale
Data Center

- ・ 注力製品群の増産（23年度比）
 - ・ ローラブルリボンケーブル（25年度 2倍）
 - ・ MTフェルール（25年度 5倍）
- ・ 接続ソリューションの拡充
 - ・ 超多心プリコンケーブル（25年度下期販売開始）
- ・ 次世代ソリューションの開発・量産



MTDC

Multi Tenant
Data Center

- ・ グローバルな顧客基盤で地域ごとに事業を拡大
- ・ 包括的なソリューションポートフォリオの構築

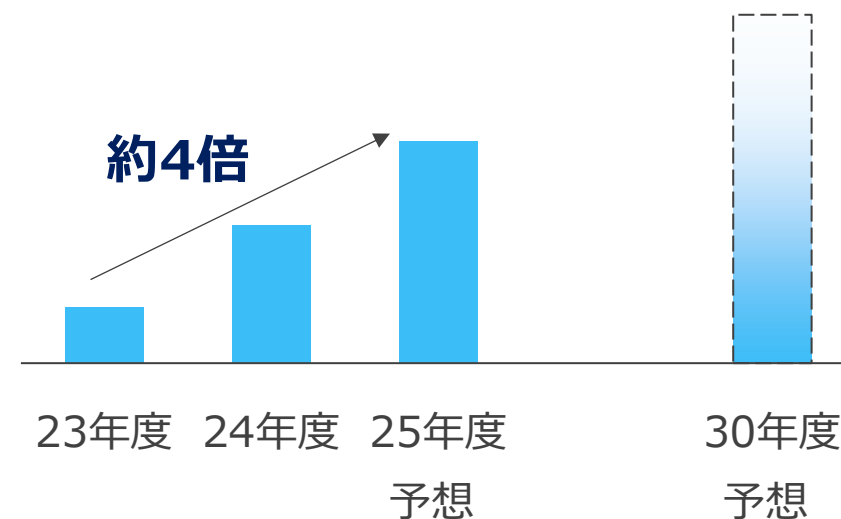


エンタープライズ

- ・ ノキアとのグローバル共創推進
 - ・ PON-LANソリューションのグローバル展開



データセンタ市場向け売上高推移



北米事業の状況について

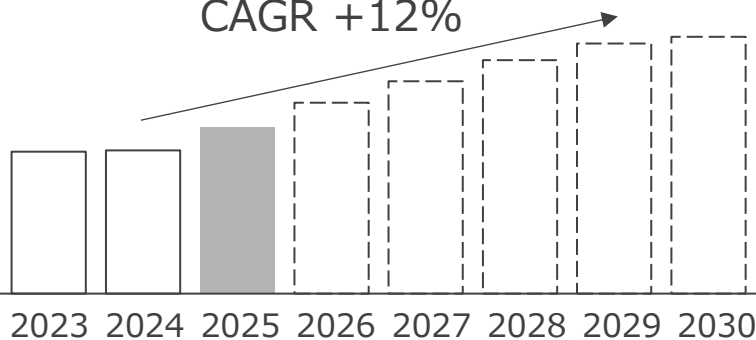
- 市場成長が継続、データセンタおよびAI需要が牽引
- ケーブル生産能力アップと多心化への対応

市場見通し

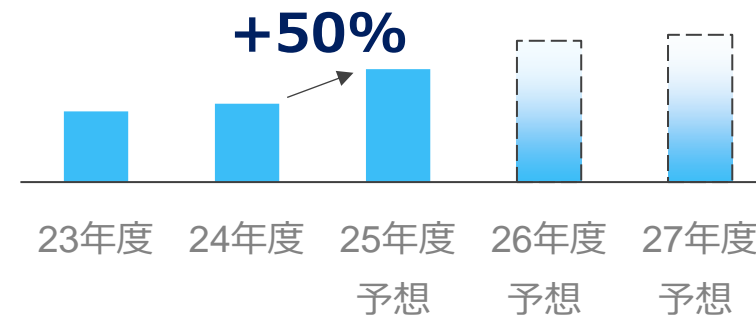
- 5年間平均成長率+12%を予想
- AI・データセンタ需要によりダークファイバ市場が活況
- BEAD資金拠出のさらなる遅れ
- 関税施策による投資影響に注視

北米光ケーブル需要予測

CAGR +12%



北米ケーブル売上高推移



重点施策

販売

- 主要インターネットサービスプロバイダ（ISP）との連携により、ダークファイバ需要を確実に捕捉

製造

- 生産能力アップ（25年度売上 前年度比+50%）
- ローラブルリボンケーブル製品の拡充（比率>50%）

その他

- 関税施策への対応（価格の適正化、サプライチェーンの最適化等）

超高密度・細径化技術、低遅延化技術により、伝送容量のさらなる拡大を実現

超多心ローラブルリボンケーブル

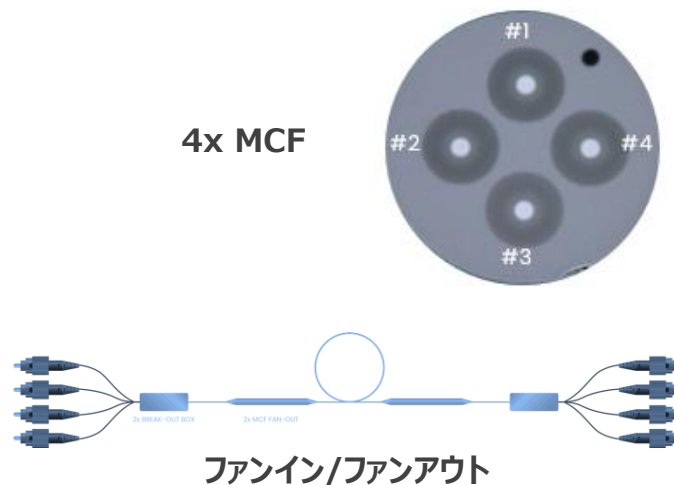
さらなる大容量伝送に対応

超多心ケーブル
(>10,000心)



Multi-Core Fiber Solution (MCF: マルチコアファイバ)

通常のファイバに比べて4倍の伝送容量
接続含むフルソリューションを提供

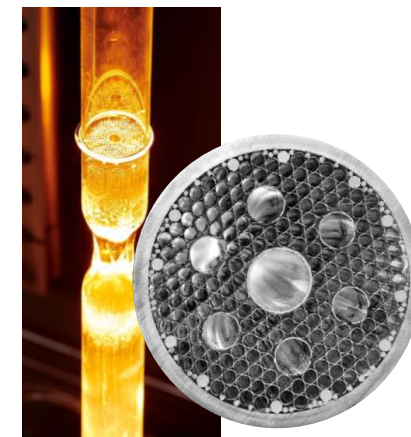


融着機
S185シリーズ



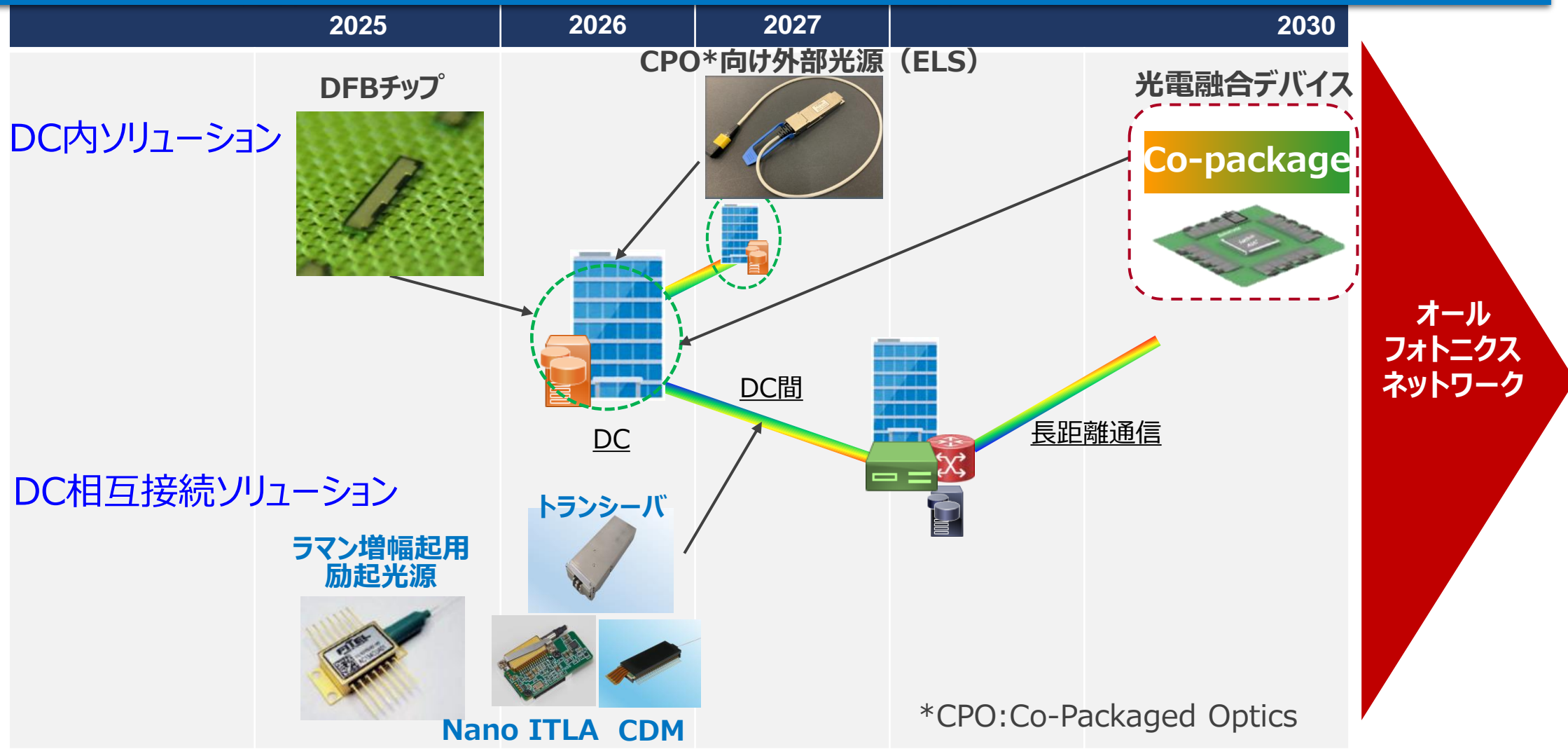
Hollow Core Fiber (HCF: 空孔コアファイバ)

DCビル間の距離を50%延長



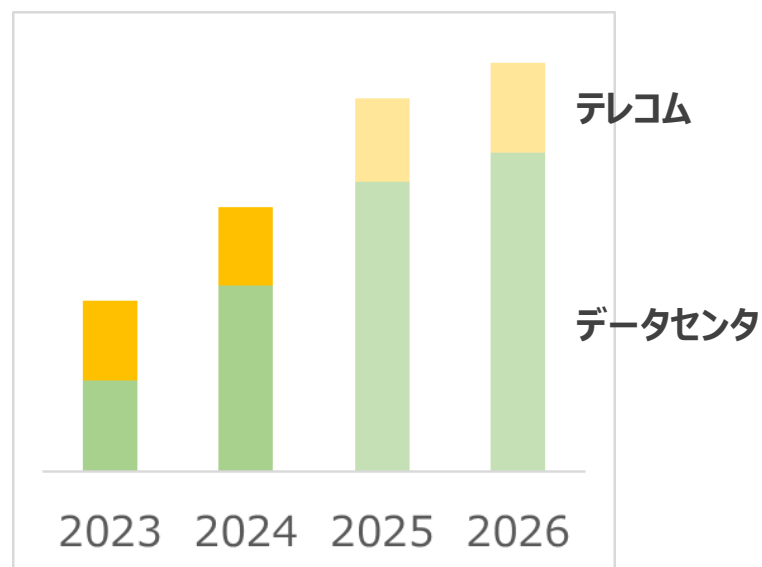
ファイテル製品

- ・高出力・低消費電力技術により、AI・データセンタ向け市場での優位性を確立
- ・DC内短距離通信向け、DC相互接続コヒーレント通信向け製品ラインナップ^o拡充



- ・好調なデータセンタ市場を確実に捕捉
- ・データセンタ向けDFBチップ増産・拡販

- ・AI・データセンタ向け需要は今後も好調継続
- ・データセンタ間需要の増加
- ・テレコム向け需要は24年度後半から徐々に回復



光部品市場見通し 出典：SignalAI社

DC内ソリューション

DFBチップ

- ・400G/800G向け需要増対応のための製造能力の拡大
(23年度比 25年度下期 5倍)
- ・800G/1.6T向け製品開発と拡販
- ・生産性改善などコストダウン活動の継続

DC相互接続ソリューション

Nano-ITLA

- ・800G/1.6T向け製品開発と量産
- ・生産性改善などコストダウン活動の継続

ブロードバンドソリューション

人々のライフスタイルを変革していくソリューションを展開

～2025

～2030



PON製品世界シェアNo.1

NOKIA

×

古河電工

➤ 高度な製品力・ソフトウェア力で
次世代通信規格をリード

➤ 多種多様な光製品、技術力により
ワンストップでソリューションを提供

次世代光アクセスネットワークの構築を加速

ご清聴ありがとうございました
Thank you

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



補足資料 - Appendix

補足資料 事業概要

補足資料 製品紹介

【25中計（Road To Vision2030 -変革と挑戦-）基本方針】

これまで培ってきた通信の要素技術を進化させ、さらにはソリューションとすることにより、ビジョン2030で掲げる『情報/エネルギー/モビリティが融合した社会基盤創り』に貢献します。

【事業環境・強みと課題】

事業環境 主な収益機会

- 世界的な通信トラフィックの増加（高速・大容量・低遅延・省電力）
- データセンタの拡大、AI技術の普及、B5G、クラウドサービス、IOTの進展

統括部門としての強み

- 成長市場に展開するグローバル生産拠点
- 高機能製品・技術（光ファイバ・ケーブル、デジタルコヒーレント関連およびIPネットワーク技術等）を活かした差別化

事業環境 主なリスク・脅威

- 米国関税施策の影響
- 米中貿易摩擦
- サプライチェーン問題
- インフレによる人件費、エネルギーコスト、原材料費の高騰

統括部門としての課題

- 左記の事業環境に配慮しながら保有するグローバル生産拠点を最大有効活用し、市場へ最適なソリューションの提供

【25中計達成に向けた重点施策】

・通信分野：サプライチェーンのキーポジションに立ち情報伝達の“省電力化”に寄与する高付加価値製品ソリューションを提供

・非通信分野：“生活の安全と豊かさの向上”に繋がる情報・エネルギーの生成・伝達・検出等に寄与するための高付加価値製品群・サービスを提供

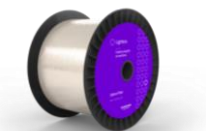


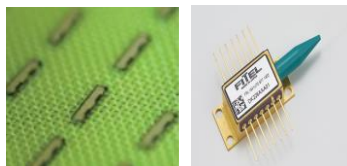


光ソリューション：データセンタ需要の最大限取り込み、北米ケーブル拡販体制の整備、ソリューションセールス拡大

ファイテル製品：データセンタ需要の最大限取り込み、FFOC連携ラインナップ拡充、CPO向け製品開発

ブロードバンドソリューション：国内CATV需要の最大限取り込み、他社共創推進



Appendix 製品紹介

	光ソリューション			ファイタル製品		ブロードバンドソリューション
						
5G/B5G	●	●	●	●	●	●
インフラ強靱化	●	●	●	●	●	●
カーボンニュートラル	●	●	●	●	●	
主な製品	<ul style="list-style-type: none"> ● 低損失ファイバ ● 低曲げ損失ファイバ ● 低遅延ファイバ ● 海底用ファイバ ● 特殊ファイバ 等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 光ケーブル全般 (ローラブルリボンケーブル等を含む) ● LANケーブル 	<ul style="list-style-type: none"> ● 光接続製品 (MTフェルール等を含む) ● 融着機 	<ul style="list-style-type: none"> ● DFB ● 波長可変レーザーモジュール ● 励起用レーザーモジュール 	<ul style="list-style-type: none"> ● 光送受信デバイス ● 光トランシーバーモジュール 	<ul style="list-style-type: none"> ● FTTHシステム ● 無線システム ● ネットワークルータ
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンドネットワーク ● エンタープライズネットワーク ● ダークファイバネットワーク ● データセンタ/データセンタ間接続 ● 海底ネットワーク 		<ul style="list-style-type: none"> ● スマートグリッド ● スマートシティ ● 監視・センシング 	<ul style="list-style-type: none"> ● データセンタ向け大容量通信 ● デジタルコヒーレント信号光源 ● 信号光増幅用励起光源 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信事業者向け高速通信 ● データセンタ向け大容量通信 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信放送サービス ● 映像伝送 ● 無線インフラ ● 高速・大容量通信サービス ● VPN サービス
主な顧客	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信事業者・通信工事会社、インターネットサービスプロバイダ ● データセンタ事業者・ダークファイバ事業者 ● 電力、鉄道、高速道路等、各種インフラ事業者 			<ul style="list-style-type: none"> ● システムベンダー ● 伝送装置メーカ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信事業者 ● システムベンダー ● 伝送装置メーカ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信事業者 ● CATV事業者 ● 自治体 ● 一般企業